

第4回大阪府高等学校図書館研究会 例会

「リサーチスキル、プレゼンスキルを司書教諭が教科教諭と共に教える授業と図書館

千里国際学園中高総合科の授業のカリキュラムの流れと実際」

千里国際学園中等部高等部

司書教諭 青山比呂乃

司書/IT スタッフ 宮本由喜子

日時： 2008年12月3日(水) 午後3-5時

場所： 千里国際学園(大阪府箕面市)

0. 図書館見学

OIS：幼小中高の大阪インターナショナルスクール(英語で授業)と SIS：千里国際学園中高(日本語で授業)の共同利用機関であることの説明。館内の日英の資料配置、それぞれの資料を生かした授業例紹介。

英語圏の図書館を使った授業とその影響を受けた SIS の授業と生徒製作物の説明。

司書教諭 青山比呂乃)

OPAC を使った図書館資料検索と、有料無料の DB 検索の説明。(司書/IT スタッフ 宮本由喜子)

於： 3階会議室

1. 中等部高等部 校長 大迫弘和 あいさつ

学内における図書館・司書教諭と総合科設置について

2. 総合科主任・司書教諭 青山比呂乃

配布物：スライドと学園の履修科目一覧(スライド参照 - [kamoku.ppt \[109KB\]](#))



* 以前に紹介した中学1年生総合授業「知の探検隊」の発展としての総合科

2006年度から置かれた総合科の体制

総合科では、各教科が主体で行われている科目もあるが、「複数の教科にまたがる学習内容」特に、「調べる、まとめる、レポートを書く、プレゼンテーションをする」といったリサーチスキルの習得に重点を置いた取り組みをしている。カリキュラムを各教科教員、情報科、司書教諭が協働した毎年の実践を通じて練り上げてきている。

総合科の独自の科目

- ・ 「知の探検隊」:SISに入学したばかりの中1全員必修。週2コマ1年間。1クラス20名程度に3名の教員がつく。一通りのリサーチスキル学習を丁寧におこなう。2学期目はレポート作成指導、3学期目はそれを基にしたパワーポイントプレゼンテーション指導。

- ・ 「保健総合」: 学習内容として、保健を使いながら、スキル教育を繰り返して強化する。

- ・ 中学3年間の必修

「保健総合」の学習内容とスキル教育の連携の説明

2006年度の体制



総合科目の流れ

- ・ コンピュータスキルと絡めながらリサーチスキルを習得できるよう、総合科目を連携させた組み立て
- ・ リサーチスキルは「一度教えておしまい」では、なかなか身につくものではない。定着を図るための繰り返しの工夫。

(スライド参照 - [kamoku.ppt](#) [109KB])

- ・ 左側：プレゼンテーションスキルのランク別
- ・ 右側：その他のスキルのランク別
- ・ 真ん中部分：学年学期ごとの「総合科目」の内容と連携



他のリサーチスキル教育 高校生のためのプログラム

- ・ 社会科「**比較文化**」 高校1年必修

「現代社会」をこのように言い換えた SIS 独自の授業。6月から2月まで約半年間、大きなリサーチ(論文作成)に各自が取り組む。具体的には6月に授業1コマ使って、司書教諭が先ほど図書館で説明したような DB や資料検索の戦略について、資料探しのオリエンテーションをする。その後は各自の個人的相談に乗る。生徒は、9～1月の間に、ひとり30分間、中間発表と称し自分の選んだテーマについて授業をしなければならないため、真剣に取り組む。

- ・ 総合科「**情報の技術**」高校1, 2, 3年共通選択科目
 - 司書教諭が担当する授業。内容は、基本的に「知の探検隊」と同じだが、テーマは自由。
 - 中1「知の探検隊」をやらなかった途中編入生を対象。ただし高校生になって、改めてリサーチスキルを学びなおしたい、さらに磨きをかけたいという生徒も選択する。
 - パワーポイントプレゼン例 参照。
([hapyou.ppt](#) [292KB])



美
目
〇
〇
拾
年
式
組

大奥のおかね
—大奥のナンボに迫る—

学内の他の教員への働きかけ

- ・ 生徒が何年生のどの学期には、どのようなことを自分でできるようになっているかを知ってもらう。
 - 各教科の授業の中で、リサーチ、レポート作成やプレゼンテーションを行う際に、参考とする。
 - どのような方法で取り組むかといった「手法の選定」
 - どの程度のできばえを目指すかといった「目標の設定」
- ・ 総合科チームへの参加呼びかけ
 - 20名くらいのクラスで、一斉にプレゼンテーションやレポート作成に取り組む時のコツ
 - 教える側のいろいろな工夫やスキルの蓄積を教科書化検討中